

愛媛県におけるキオビエダシャクの初記録

安田昂平¹・吉富博之²¹ 面河山岳博物館² 愛媛大学ミュージアム写真1 *Milionia zonea pryeri* Druce, 1888 キオビエダシャク A : 標本写真, B : 生態写真.

種の記録

Geometridae シャクガ科

Milionia zonea pryeri Druce, 1888

キオビエダシャク(写真1)

標本 採集年月日:2025年10月25日, 採集場所: 愛媛県西宇和郡伊方町大久(33.426044N, 132.204265E), 個体数:1ex, 採集者:成木利久, 標本保管:愛媛大学ミュージアム(写真1A). 採集年月日:2025年10月27日, 採集場所:愛媛県西宇和郡伊方町塩成(33.447389N, 132.258167E), 個体数:1ex, 採集者:安田昂平, 標本保管:面河山岳博物館(写真1B).

種の特徴

採集個体の特徴として, 前翅長は30mmほどで翅は黒く, 前後翅共に黄色の帯状模様があり, 頭部から腹部にかけての虫体と脚, 翅の基部には青色の金属光沢があることから本種と同定した.

備考

本種はインドからマレー, 台湾にかけて分布し, 国内では南西諸島から九州本土域で発生が確認されており(井上, 1982), 近年分布域を北上させている. 四国ではこれまでに高知県(岡田, 2023)での記録があり, 愛媛県では本報告が初記録となる. 報告個体はいずれもフジバカマに飛来したもので, この他にも複数個体が住民によって撮影されている. 塩成では本種の

食樹であるイヌマキが植えられていたが, 幼虫は確認できなかった. 本種は時に大発生し, 食樹の葉を食べつくすこともあるため(具志堅, 2017), 今後の動向に注意が必要である.

謝辞

本報告にあたり, 撮影情報を提供いただいた橋越清一氏, 大橋広明氏, 成木利久氏, 佐々木政明氏にお礼を申し上げます.

引用文献

- 具志堅允一. 2017. キオビエダシャク. 牧野俊一(監), 沖縄のみどりに発生する主要な病害虫 診断・防除の現状. 沖縄県農林水産部森林管理課 沖縄らしいみどりを守る事業保全対策検討委員会, 那覇. 29-35.
- 井上 寛. 1982. シャクガ科. 井上 寛ほか(編), 日本産蛾類大図鑑1. 講談社, 東京. 425-573.
- 岡田遼太郎. 2023. 高知県初記録となるキオビエダシャクを採集. 月刊むし, (623):47.

(2025年12月26日受付, 2026年1月20日公開)

連絡先: 安田昂平 (e-mail: koheizari303@gmail.com)

(Kohei Yasuda and Hiroyuki Yoshitomi. 2026. A new record of *Milionia zonea pryeri* (Geometridae) from Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26005)